

大腿骨近位部骨折の手術を受けられる患者様へ

入院診療計画書（患者用パス）

疾患名

病棟（病室）

（

号室）

患者氏名

様

主治医

主治医以外の担当者

特別な栄養管理の必要性

有

・

無

サイン

月日	／ ～ ／		／	／	／ ～ ／	／ ～ ／	／ ～ ／	／				
経過	入院～手術前日		手術当日(前)		手術当日(後)	術後1日目	術後2～7日目	術後8～10日目				
症状												
達成目標	疼痛のコントロールができる 心身共に安定した状態で手術を受けることができる		疼痛のコントロールが出来る 術後感染の徴候・合併症の症状がない		転倒予防を理解できる							
活動・安静度	ベッド上での安静です 上半身は起こせます		許可がでるまで起き上 がれません		足が上がれば体重をかけることができます 許可ができれば車椅子に乗れます 状態により徐々に体重をかけて歩行訓練を実施します							
食事	夕食から食事を提供します 手術前日の21時から絶食です 水分は摂取できます	食事は食べられません 手術の時間によって水・ お茶を飲んで良い時間が 決まっています 看護師がお伝えします	手術後3時間で水分摂取 ができます		飲み込みに問題がなければ朝からゼリー又は食事が出ます							
内服・点滴	持参されたお薬は医師の指示のもと使用します 必要時点滴をします		朝必要な薬を飲みます 体調を整える点滴があります		痛み止めが出ます(7日間)							
清潔・排泄	尿の管が入ります				清拭を行います 尿の管を抜きます	手術後2日目よりシャワー浴が出来ます できない場合は清拭を行います		傷の状態によりシャワ ー浴か入浴ができます				
検査	入院時血液検査 ・レントゲン検査を行いま す		レントゲン検査を行いま す		朝、血液検査を行いま す	手術後7日目朝、血液検査を行います 手術後7日目骨密度検査・レントゲン検査を行いま す	手術後13日目朝、血液検査を行います 手術後13日目レントゲン検査を行います					
処置	骨折している方の足を引っ張る処置をします 足の下に枕を入れて挙上します 必要時弾性ストッキングやフットポンプを使用します 患部を冷やします		翌朝まで酸素を吸入します		患部を冷やします 適宜傷の消毒・ガーゼ交換を行います ストッキング・フットポンプは続けます		傷の状態を見ながら 抜糸を行います					
観察	適宜足の状態や血圧などをチェックします		頻回に血圧や熱の測定・ 足の状態観察を行います		適宜傷の観察や血圧や熱の測定を行います							
リハビリ	必要があれば術前よりリハビリを実施します				ベッド上でのリハビ を開始します 座位→車椅子→立位 へと進めていきます	歩行や日常生活の自立に向けて運動を実施します						
教育・説明・指導	手術についての説明を医師より行います 入院についての説明を看護師から行います 手術の書類にサインをいただきます		手術後医師から説明を行 います		離床についての説明を行 います	転倒予防についての説 明を行います 必要に応じて栄養指導を 行います	必要に応じて退院前にも 栄養指導を行います					
退院後の 治療計画						必要があれば介護保険等の説明や調整を行います (退院日まで)	足の状態によりリハビリの継続が必要な場合が あります＊その場合は転棟や転院が必要です。 退院後の注意点について説明を行います 次回受診日の説明を行います					
退院後の治療上 の注意点	～退院後の生活について～ 特にありません											
その他療養計画	☒ 安全を確保するため、やむを得ない場合に身体的拘束を行います ＜看護＞											

・診療内容等は現時点で考えられるもので、今後の検査等を進めていくにしたがって変化する場合もあります。その場合は再度説明いたします。
・入院期間については、現時点で予想されるものです。

説明日

説明者